

八代焼刷毛目茶碗

喜楽 作 明和2年（1765）

八代焼といえば、美しい象嵌模様が一番に思い浮かびます。「象嵌」とは、作品のもととなる素地に、異なった素材を埋め込んで模様を表す技法のこと。金工、木工、陶磁器とさまざまな分野の工芸に用いられており、熊本の伝統工芸品として有名な「肥後象嵌（眼）」は鉄地になどに金や銀を埋め込んだものです。八代焼の象嵌は、素地となる胎土に、白土を埋め込むことで模様を表します。象嵌は八代焼の代表的な技法ですが、その他にも色々な技法が用いられており、その作風は実に多彩です。

写真の作品は、江戸時代中期に活躍した八代焼の陶工・喜楽（奥上野家）作の茶碗です。長石などを含んだ粗めの土を胎土としていたため、表面はポツポツとしています。焼成によって緑がかった灰色や赤褐色が混じる、美しい焼きあがりです。内側に見える白い渦のような模様は、「刷毛目」という技法によるもの。ま



▲八代焼刷毛目茶碗 喜楽作
明和2年（1765）松井文庫所蔵

■展示案内

企画展 「松井家の茶道具」
会 期 4月13日(出)～7月中旬
会 場 松浜軒
午前9時～午後5時
(入園は午後4時30分まで)
閉園日 毎週月曜日
(祝日の場合はその翌日)
観覧料 一般 500 円
小中学生 250 円

問合せ 松浜軒／松井文庫
☎ 33-0171

だ生乾きの器を轆轤回転させながら、象嵌で用いる白土を刷毛で塗ることで、渦のような模様を表します。
底には「九十四歳 喜楽」の銘が見られます。喜楽は、明和6年（1769）に98歳で死去したことが記録に残っているため、本茶碗は最晩年の作といえます。
喜楽は晩年、制作年や銘を入れた作品をいくつも残しており、なかには象嵌で自作の句を施した茶碗や、自身の姿を表した像まであります。八代焼がもつ自由で多彩な二面を、存分に発揮した陶工の一人といえるでしょう。
松浜軒では、八代焼をはじめとした松井家の茶道具を展示しています。ぜひ出かけてみてください。

（市立博物館未来の森ミュージアム 学芸員 宮原江梨）



2019 女子ハンドボール世界選手権大会

ボランティア募集

世界から24カ国の強豪チームが熊本に集結し、女子ハンドボールの世界一を決定する「2019 女子ハンドボール世界選手権大会」が、八代トヨオカ地建アリーナ（市総合体育館）で開催されます。

おもてなしの最前線で一緒に大会を盛り上げるボランティアスタッフを募集しています。

募集締切 6月30日(日)
募集要件 15歳以上（平成31年4月1日現在）、3日間以上活動できる人など
募集区分 個人（1人）／グループ（2人以上）
団体（企業・教育機関・各種団体など）
申込方法 大会公式ウェブページか応募用紙での郵送
募集種類 運営ボランティア、語学ボランティア
活動内容 観客対応、案内業務など

問合せ 2019 女子ハンドボール
世界選手権大会組織委員会
☎ 096 (333) 2558



200 日前カウントダウン イベント開催

と き 5月18日(土)

午前11時～正午（予定）

ところ ゆめタウン八代駐車場

内 容 大会 PR ラッピングバス出発式、
第一中学校吹奏楽部演奏 など

※来場者には「くまモン缶バッジ」プレゼント
（数に限りがあります）

※イベント詳細については、後日、市ホームページでお知らせします。

問合せ スポーツ振興課 ☎ 43-7012



今月の 表紙

4月7日に鏡が池でフナ取り神事が開催されました。神酒で清めた締め込み姿の男たちが池に入り、フナや泥を見物客に投げると、あちこちで歓声があがりました。泥がかかると無病息災に過ごせるといわれており、子どもたちの顔に泥を塗られる姿もありました。